

2020年1月27日

各位

株式会社 鶴 弥

代表取締役社長 鶴見 哲

被災屋根用 棟養生シート「らく棟シート」発売のお知らせ

この度、当社は、被災した屋根の棟養生を想定したシートを発売することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新商品名

「らく棟シート」



2. 開発の背景

近年、地震や台風などの自然災害により、瓦屋根にも甚大な被害が発生しています。現行の防災瓦・防災工法では大きな被害は無いと認識しておりますが、以前の防災に対応していない屋根仕様では、数多く被災していることも事実です。

被災屋根の復興遅れは、エンドユーザーの不安や瓦離れ、工事店の非合理的な運営にも繋がる恐れもあり、逸早い復興のお手伝いが当社の使命と考えています。

被災屋根の雨養生は、後の復興の効率化において非常に重要です。同一地域・同一時期に発生する自然災害では、専門業者が雨養生できる数が限られ、他業種の工事業者が行うことも少なくありません。そのような状況を想定し、“少しでも早く確実に”、“一定期間養生が可能な”シートとして「らく棟シート」を発売いたします。

本商品の詳細については、添付資料をご参照下さい。

3. 発売日

2020年1月27日

4. 定価

6,500円（税抜）/セット

セット内容		
本体シート	（幅1.2m×長さ5.4m）	1枚
水袋用ビニール袋	（幅0.2m×長さ2.5m）	6枚
インシュロック	（長さ300mm）	15本

5. 本件商品の詳細に関するお問い合わせ先

開発部 加藤

TEL：0569-77-0797

FAX：0569-28-5566

E-mail：m-kato@try110.com

以上

販売・価格に関するお問い合わせ先（営業部）

TEL:0569-29-4999 FAX:0569-29-1403

入出荷・受注・在庫に関するお問い合わせ先（業務部）

TEL:0569-29-2311 FAX:0569-29-2881

被災屋根用 棟養生シート

らく棟シート

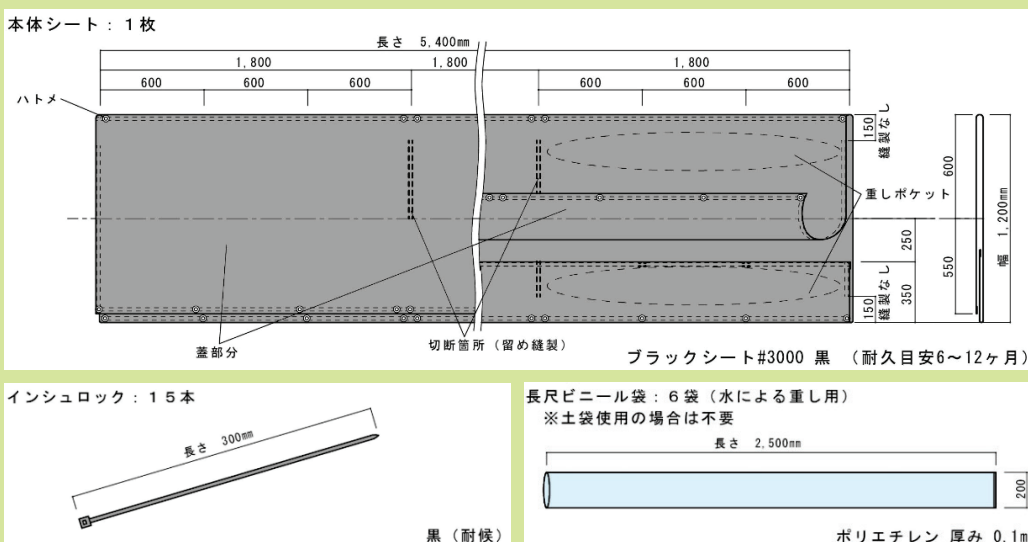


らく棟シート(土袋)使用例



らく棟シート(水袋)使用例

商品内容



らくらく7ポイント

1. 棟養生専用の1.2m幅・長さ5.4m
2. 長さは1.8m毎に切断可能
3. 重しポケット付で重しの固定が不要
4. 同梱の長尺ビニール袋で水袋による重しも可能
5. 材質#3000ブラックシート2重構造で高耐久
6. わずらわしい土袋劣化の再養生を防止
7. スッキリ見た目の安心感

らく棟シート

スッキリ見た目!



従来の棟養生

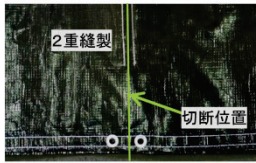


施工方法

土袋 ※別途土裏 18枚必要(5.4m、600 ミリピッチ)

水袋

①地上で本体シートを必要長さに応じ切断してください。(1,800 ミリピッチで2重縫製部分あり、縫製の間で切断)



②土袋にガラ等を入れ重しを準備してください。(両サイド 600 ミリピッチ分・6~8 kg/袋が目安)



③本体シートを養生する場所に被せてください。



④シートの両サイドの重しポケットに土袋を入れます。



⑤蓋部分をかぶせ、蓋部分と端部のハトメをインシュロックで固定してください。

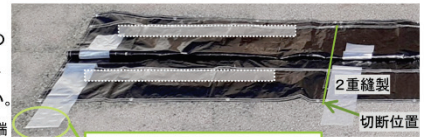


⑥完成



①地上で本体シートを必要長さに応じ切断してください。(1,800 ミリピッチで2重縫製部分あり、縫製の間で切断)

本体シートの両サイドの重しポケットに長尺ビニール袋を入れてください。この時、ビニール袋の端を出しておいてください。



ビニール端は本体から出しておく

②本体シートを養生する場所に被せてください。

(隅棟の場合はビニール袋の端が水上側になるように被せてください。)



屋根上にホースを伸ばし、ビニール袋の中に水を入れてください。片荷重部にならないように交互に入れ、本体シートのポケット内のみ注水(約 10 ㍈/m)してください。(縛る部分を残す。)

③両サイドのビニール袋の端をシート中央部(水の入っているところよりも高い位置)で縛ってください。



隅棟はビニール端を水上側にする

水が漏れないよう高い位置で縛る

④本体シートのふた部分と端部のハトメをインシュロックで固定してください。



インシュロック

らく棟シート (土袋) 使用例



らく棟シート (水袋) 使用例



製造元・販売



株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市市の崎町2番地12
営業部 TEL.0569-29-4999 FAX.0569-29-1403

ホームページ
www.try110.com

特約店